



# 国際交流のひろば



## 留学生オリエンテーション

4月14日(金)12時から人104において、平成29年度留学生オリエンテーションを実施しました。

藤谷国際交流推進センター専任教員の進行で、最初に釜田国際交流推進センター長から挨拶、次に押木留学生支援専門部長から「4つの留学生支援方針について」の説明があり、「留学生履修プログラム」「留学生支援に関する役割」「修学・生活上の諸手続き」「宿舎入居の注意」など国際交流チーム主査から説明がありました。



## よろしくお願いします!



4月に入学した留学生は中国5名、台湾1名の6名です。これにより、本学で学ぶ留学生の数は博士課程の留学生を含めると39名となりました。現在、中国、台湾からの留学生が在籍しています。

4月に初めて渡日した王娟さんに自己紹介をお願いしました。(写真:左から2人目)

### 教育連携コース・研究生 王娟(中国)

みなさん、こんにちは。私は中国江西省から参りました。大学で4年間日本語を勉強して、卒業し、就職活動をする中で日本語能力だけでは足りないことを痛感し、日本への留学を決めました。

上越教育大学で勉強できて良かったと思います。指導教員の大前先生は、研究の指導をしてくださいました。また日本に到着してから、先生や職員は世話をしてくれて、順調に入学できました。一人で日本にいても心は温かいです。また、あることで私はすごく感動して涙がこぼれました。

キャンパスを散歩しながら綺麗な風景を見て、気持ちが楽になります。これから、この信頼と感動を持って、大学院生を目指して頑張ります。未来のために、前に進みます。よろしくお願いします!

## 「外国につながる子供たち」への修学支援事業説明会

国際交流推進センターでは、上越地域在住の外国人児童生徒を対象に修学支援事業を実施しており、毎週月曜日と火曜日の放課後、本学において、大学院生、学部生、外国人留学生が外国人児童生徒への学習支援を行う予定です。

今年度は、4月14日(金)、19日(水)両日の12時から人106において、平成28年度の報告、平成29年度の説明及びメンバー登録会を行いました。



### 発行・お問い合わせ先

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学 国際交流推進センター「国際交流のひろば」  
Tel:025-521-3666 (研究連携課 国際交流チーム)



# 国際交流のひろば

## 「海外との研究交流事業」の取り組み紹介

本学の国際戦略及び国際交流に係る基本方針に基づき、海外の大学等との研究交流を推進するため、「海外との研究交流事業」を行っています。今年度は4件の事業が採択されました。

今回は、平成29年5月にスペインのバルセロナで開催された国際社会・補完通貨学会に参加した社会系教育実践コースの吉田昌幸准教授の報告です。

### 「4th International Conference on Social and Complementary Currenciesに参加して」

2017年5月10日から5月14日までスペインのバルセロナで開催された国際社会・補完通貨学会に参加してきました。この学会は、現代のグローバルな金融経済が直面している課題を明らかにし、新たな金融技術の開発を通じてそれら課題への解決策を図ることを目的に2年に1回開催されています。今回学会において日本における地域通貨の特徴（発行目的や発行組織）について量的調査をもとにその成果を報告してきました。日本の地域通貨に詳しい方や関心を持っている方が多く、様々なコメントや質問を受け、今後の研究方針をより明確にしていけることができました。

学会では英語、フランス語、スペイン語、カタルーニャ語と様々な言語でセッションが生まれ、多様な通貨を議論する本学会の特色が垣間見られました。次回2019年は日本で開催されることとなり、国内外の地域通貨研究者や実践者が参加できるような大会を組織していく予定です。



国際社会・補完通貨学会の様子



学会開催地で行われた地域通貨の市

## 語学教室が始まりました

5月17日(水)12時から図書館情報交流ゾーンにおいて、中国語教室が始まりました。

中国出身の留学生が講師となり、学生、教職員9名が参加し、学校で外国人児童生徒を迎えた時にも使える簡単な表現や発音などを学んでいます。

参加者の参加目的は「学校で中国人の生徒を迎えた時の会話力を身に付けるため」「会話が苦手なので、話せるようになりたい」「興味があるから」など様々です。

毎回、発音を練習しながら、5月は挨拶や自己紹介を学びました。

この語学教室は全7回行う予定です。



5/17 第1回目の教室

## 留学生等の交通安全教室



5月18日(木)12時から人104において、交通安全教室を実施し、留学生、学生、教職員29名が出席しました。

藤谷国際交流推進センター教員が司会進行を務め、押木留学生支援専門部会長の挨拶の後、春の交通安全教室として、DVDを視聴しながら、自転車の交通ルールや道路での乗り方などについて学びました。

参加者は真剣な表情でDVDを見ていました。

今年度は10月に、上越警察署員をお招きし、秋の交通安全教室を実施する予定です。

## 学長と平成29年度4月入学留学生との懇談会

5月23日(火)12時から第2食堂において懇談会を実施し、学長、理事、副学長、留学生指導教員、国際交流推進センター教員と留学生の15名が出席しました。

留学生の自己紹介、学長からの歓迎と励ましの言葉があり、昼食をとりながら、和やかに懇談が行われました。

唐 朝豊さんに自己紹介と入学して2か月経った感想文を寄せてもらいました。



### 道徳・生徒指導コース 研究生 唐朝豊(中国)

私は中国広東省から参りました。夢は大学の先生になることです。そのために、昨年一年間、埼玉県日本語学校で日本語を勉強して、上越教育大学に入学しました。

上越に来て2か月が経ちました。初めの頃は、先生方やチューターから宿舎の手続きや生活、学校周辺を案内など色々とお手伝い頂きました。初めて日本人の友人を作ることができ、大変嬉しかったです。一緒にラーメンを食べに行ったり、春日山や海を見に行ったりしました。この経験は一生の思い出です。また、授業では日本語や自分の興味のある授業を受けています。日本人の学生と一緒に授業を受けることは初めてで、先生や友達から教えていただき、だんだん授業の内容が分かるようになってきました。上越は東京に比べて田舎な雰囲気ですが、人は優しくきれいな環境で、私にとって良い所だと感じております。

## お知らせ

### 平成29年度留学生が語る／留学生と語る会

日 時：6月21日(水)17:00~19:00

場 所：シェアハウス大町及び旧今井染物屋

テーマ：「町家」と「シェアハウス」—住まいとくらしを語ろう—

内 容：町家とシェアハウスを見学し、留学生等からの話題提供等も含み、住まいとくらしについて語り合います。

※ 後日、ポータルサイト、ポスターで周知します。



### 発行・お問い合わせ先

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学 国際交流推進センター「国際交流のひろば」  
Tel:025-521-3666 (研究連携課 国際交流チーム)

# 国際交流のひろば

## 平成29年度留学生が語る／留学生と語る会

6月21日(水)17時からシェアハウス大町及び旧今井染物屋において、留学生が語る／留学生と語る会を開催しました。

この会は、本学国際交流推進センター留学生支援専門部会が企画し、外国人留学生に対する理解や関心を高め、異文化理解マインドを育てるため、外国人留学生から自国の紹介等をしてもらい、留学生と語り合う機会を提供することを目的に実施しています。

今回は、『「町家」と「シェアハウス」－住まいとくらしを語ろう－』をテーマに、第一部は町家とシェアハウスを見学し、第二部は留学生からのモンゴルゲルと北京の胡同（フートン）の紹介の後、参加者と一緒に住まいとくらしについて語り合いました。

今回は市民の方にもお越しいただき、教職員、学生などを含め、約40名の参加があり、有意義な時間となりました。



雁木の説明



留学生と語り合いました

## カザン連邦大学 ラリサ・ヴォガトヴァ先生の講演会

6月21日(水)16時20分から人201教室において、ロシア連邦・タタリスタン共和国からお越しの研究者、ラリサ・ヴォガトヴァ氏による講演会が実施されました。

講演は「社会科の新しい教科内容構成のための社会哲学・ジェンダー研究・生命倫理」をテーマに、ロシア語で(人文・社会教育学系、下里俊行教授による通訳を交え)行われました。

ラリサ氏は、外国人研究者招へい事業で、平成29年6月1日から6月26日まで、本学に外国人研究者として滞在されました。



### 発行・お問い合わせ先

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学 国際交流推進センター「国際交流のひろば」  
Tel:025-521-3666 (研究連携課 国際交流チーム)

# 国際交流のひろば



## 韓国教員大学校短期留学プログラム（受入れ）

7月5日(水)から8日(土)まで、本学交流協定校である韓国教員大学校から学部生9名と引率者2名の計11名を受け入れました。

韓国教員大学校との交流協定に基づく学生の相互交流として、学生の国際理解・異文化理解の深化を図り、韓国教員大学校との交流を推進することを目的に実施しています。本交流プログラムは、受入れと派遣を1年毎に行う相互交流プログラムで、今年度は本学が受入れました。

- 7/5 上越着
- 7/6 開講式  
大学紹介  
学内見学  
特別講義  
学生団体との交流(7かへう)  
市内文化研修  
歓迎会
- 7/7 附属中学校での授業実践  
学生との交流ディスカッション  
閉講式  
お別れ会
- 7/8 上越発



附属中学校での授業実践



閉講式（修了証書授与）



## 奨学金説明会

7月5日(水)12時から人104において、私費外国人留学生を対象に平成30年度各種奨学金に関する説明会を行いました。

外国人留学生の修学を支援することを目的とした「ロータリー米山記念奨学金」「平和中島財団奨学金」等の募集や詳細について、近藤留学生支援専門部会委員から、応募の仕方等について国際交流チーム主査から説明がありました。

## 国際交流七夕茶会

7月13日(木)19時15分から大学会館第2集会室において、本学茶道クラブの国際交流七夕茶会に留学生が招待されました。参加した任莉莉さん(中国)は「畳の上での立ち居振る舞い、茶碗の扱い等、留学生の私たちは戸惑いましたが、茶道部の皆さんにたてていただいたお茶ということで、慣れない抹茶の味もよく味わいました。日本の伝統文化に直接触れることができ、よい体験ができました」と感想を話しました。



### 発行・お問い合わせ先

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学 国際交流推進センター「国際交流のひろば」  
Tel:025-521-3666 (研究連携課 国際交流チーム)



# 国際交流のひろば

## 複言語複文化の子どもたちへの理解を深める講演会

8月6日(日) 13:30から人113において、外国につながる子どもたちへの教科指導等への理解を深めることを目的に、チュープサランさん、宮脇英理さんによる「複数の言語文化環境で育った私の経験」、清水睦美教授による「外国につながる子どもたちの教育」をテーマに講演会を実施しました。

また、同日は9:30から外国につながる児童生徒を対象にした夏休みの宿題教室を実施しました。



## 留学生の日本文化・歴史体験に関する研修



8月9日(水) 富山県富山市に研修に行きました。留学生に日本文化・歴史体験を通して地域や日本人学生との交流の機会を提供することを目的に実施しています。

北前船廻船問屋・森家、源ますのすしミュージアム、広貫堂資料館、富山市ガラス美術館を見学し、セントラムの乗車体験をしました。

劉焱云さん(中国)から感想文を寄せてもらいました。

### 特別聴講学生 劉 焱云(中国)

先輩から聞いて、楽しみにしていました。いよいよ8月になって、富山県へ旅行しました。天気が良くなかったのに、みんなはわくわくしていました。最初に北前船廻船問屋に着きました。そこで遙かな日本海の歴史を勉強しました。次に最も興味を持っていたところ「ますのすしミュージアム」に行きました。そこで、お寿司を作る機械を見学して、職人が一生懸命に美味しいお寿司を作る姿に感心しました。また、駅でも新鮮なお寿司の駅弁を食べることができることに驚きました。広貫堂資料館で「富山の薬」の歴史を学び、日本の薬文化も深く理解しました。最後に、富山市ガラス美術館では、言葉で表せないほど美しい芸術品を鑑賞しました。細かいところを見ると、各作品は作家の心を表していると思います。作家が伝えたい心に惹き付けられました。一日だけの旅行ですが、様々な視点から富山市の文化に触れて、本当に良かったと思います。留学の残り少ない時間で、こんなに素晴らしい活動に参加することができて、大学のみなさんに感謝の気持ちを伝えたいです。

## 平成29年度短期外国人留学生成果発表会

8月22日(火) 13:30から人113において、本学協定校から交換留学生として学んでいる6名と日本語・日本文化研修留学生1名が、1年間の日本での留学生活と本学での学習成果について発表しました。

発表後、朱腊梅さん(中国)は「今回の発表を通して、一年間の私達の成長が見えました。皆がそれぞれ研究していたテーマの広さにもびっくりしました。何度も練習し、無事に終わって本当に良かったです。」と感想を話していました。



### 発行・お問い合わせ先

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学 国際交流推進センター「国際交流のひろば」  
Tel:025-521-3666 (研究連携課 国際交流チーム)

# 国際交流のひろば



上越教育大学 第188号 2017年9月



## 短期外国人留学生修了証書授与式

9月4日(月)13時30分から大会議室にて短期留学生修了証書授与式を執り行いました。

昨年10月より特別聴講学生として留学した中国協定校からの3名と台湾からの2名、日本語・日本文化研修留学生1名に、学長から修了証書が授与されました。

1年間の留学を無事に終え、ほっとした様子で、それぞれ帰国や進学に向けて、上越を立ちました。



### 特別聴講学生 董 媛(中国)

上越に来る前、日本語が上手ではないために、本当に緊張し心配した。しかし、来た後、上越教育大学の先生方や先輩たちが優しく接してくれて、安心した。

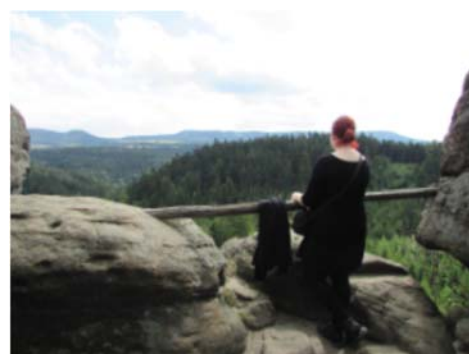
高田公園の夜桜を見たり、柏崎市の花火大会、ゼミ旅行、ごんぞ飛ばし世界選手権大会、上越教育大学管弦楽団、修学支援などに参加したり、充実した留学生生活を過ごした。印象深かったのは、上越の雪だと思う。私は中国の内モンゴル民族大学で勉強した時、マイナス20度の冬を経験し、雪を見たことがある。しかし上越市のような大雪を見たことがない。大雪は人々の生活に支障を与えている。特に、留学生にとって、冬は自転車でショッピングに行くことができなくなり、非常に不便になった。幸い、原信ネットスーパーで生活必需品を買うことができ、食糧難という問題を解決してくれた。また、雪のおかげで、美しい雪景色も観賞した。この一年間、本当にありがとうございました。



## 卒業生からの手紙

平成28年9月に日本語・日本文化研修留学生として修了し、先日、チェコのカレル大学を卒業されたギーブローバー・アデーラさんからお手紙が届きました。

みなさん、お元気ですか？私は元気！去年の9月に上越教育大学に「さよなら」と言いました。もう一年経ったのが信じられません。帰国してから、新しい生活が始まりました。家族との出会い、きれいなアパートへの引越し、日本語教師のパートタイムなどがありました。大学では日本で得た経験や知識を生かしました。上教大の修了レポートの結論も修士論文のために使いました。もちろん、さびしい時、上越で出来た友達を思い出します。みなさんは元気で、自分の夢を実現することを望んでいます。いつか会えることを楽しみにしています。3月に上越からプラハに3人の友達に来て、喜びました。私は大学を卒業し、プラハにある日本の会社に勤める予定です。がんばります！



ポーランド近くのBROUMOVSKOにて

### 発行・お問い合わせ先

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学 国際交流推進センター「国際交流のひろば」  
Tel:025-521-3666 (研究連携課 国際交流チーム)



# 国際交流のひろば

## 「海外との研究交流事業」の取り組み紹介

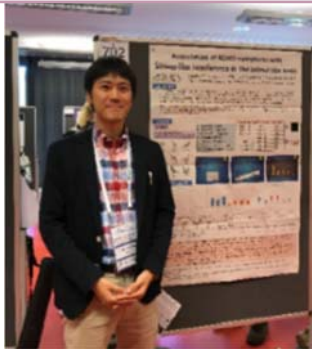
本学の国際戦略及び国際交流に係る基本方針に基づき、海外の大学等との研究交流を推進するため、「海外との研究交流事業」を行っています。今年度は4件の事業が採択されました。

今回は、平成29年9月にドイツで開催された国際会議に参加し、イタリアで知的・発達障害児における実行機能障害とその支援方法に関する意見交換と共同研究をした特別支援教育コースの池田吉史助教の報告です。

2017年9月3日から9月11日までドイツとイタリアで研究交流を行ってきました。

ドイツでは、ポツダム大学で開催された国際会議(20th Conference of the European Society for Cognitive Psychology)に参加してきました。この学会は、認知心理学に関する最新の知見をもとに世界中から集まった研究者が議論を交わし、学術的探求を深めることを目的として2年に1回欧州で開催されています。今回は、発達障害の一つである注意欠陥多動性障害と実行機能の一つである抑制制御の弱さとの関連について報告を行い、多くの研究者と意見交換をすることができました。

イタリアでは、パドヴァ大学で知的・発達障害児の実行機能障害を専門に研究しているSilvia Lanfranchi教授と面談し、意見交換を行うとともに、今後の共同研究に関して打合せを行いました。



国際会議にて研究発表  
(独)



パドヴァ大学教授と研究  
打合せ(伊)



## ウエストミンスター・スクールの来訪

10月4日(水)から7日(土)まで、本学交流協定校であるオーストラリアのウエストミンスター・スクールから初等部の児童生徒12人と引率者3人の計15人の訪問団が来訪しました。

同スクールとは、2年に1度の相互交流を行っています。今回の主な活動は次のとおりです。



学内見学

- 10/4(水) 上越に到着
- 10/5(木) 附属小学校での交流プログラム  
買い物  
引率者との交流会
- 10/6(金) 歓迎式  
「海外教育(特別)(実践)研究A」「海外FS」  
参加者・参加予定者との交流  
日本語・日本文化の授業  
上越市内散策(春日山、平和記念公園)
- 10/7(土) 高田公園を散策  
上越を出発

埋蔵文化センターにて





## 留学生オリエンテーション



10月11日(水)12時から人104において、10月入学の留学生を対象にした留学生オリエンテーションを実施しました。藤谷国際交流センター専任教員の進行で、最初に釜田国際交流推進センター長から挨拶があり、次に、押木留学生支援専門部会長から「4つの留学生支援方針について」、国際交流チーム主査から「履修プログラム」「留学生支援に関する役割」「チューター制度」「宿舍入居の注意」「修学・生活上の諸手続き」等、最後に、研究連携課副課長から「論文・レポート作成時の注意」について説明がありました。



### 新入生です。よろしくお願いします!

10月に、研究生4名、特別聴講学生(本学協定校から)5名、日本語・日本文化研修留学生2名の留学生が入学しました。

これにより、本学で学ぶ留学生数は、博士課程の留学生を含めると42名となりました。現在、中国、台湾、チェコ、スロベニアからの留学生が在籍しています。

#### 日本語・日本文化研修留学生 ヤキ・ロザ (スロベニア)

初めまして。スロベニアのリュブリャナ大学文学部のアジア研究学科で日本研究をしています。私の専門は日本文化と日本語です。私の興味は日本の伝統的な文化と現在の社会です。その経験をするために、上越教育大学はとてもいい所だと思います。様々な楽しみがあります。例えば読書とか詩を書くこととか色々なスポーツです。皆さんはガブリエル・ガルシア・マルケズやジョージ・オーウェルという作家を知っていますか。彼らの作品をぜひ読んでみて下さい。私の一番の趣味は剣道で、大学のクラブに入ってほとんど毎日稽古をする事が出来て感謝しています。稽古は時間がたくさんかかるのに、厳しい練習をしながら汗をかけてそしてもっと良く勉強が出来ます。日本でやっている剣道はヨーロッパの剣道とは違うので、技術向上の絶好の機会だと思います。



### 留学生が大学祭で出店しました

10月28日(土)29日(日)の大学祭で多文化交流サークル「まるかる」が出店しました。代表の喬宏成さんに感想文を寄せてもらいました。

#### 大学院2年 グローバル・ICT・学習研究コース 喬 宏成 (中国)

今年はお茶卵と水餃子を作りました。お茶卵を作るのは初めてで、蕪・卵・豚肉が入る餃子の餡は中国では人気がありますが、蕪の匂いは日本人にとっては大丈夫かと最初心配しました。しかし意外と日本人にも人気がありました。水餃子で使った「鎮江香酢」という中国本場のお酢も大好評でした。寒い日でしたが、皆で協力して無事に出店できました。忘れられない思い出になると思います。お茶卵作りは上越大の学園祭の恒例になるといいなあと思います。期待しています。応援してください。先生方に感謝しています。ありがとうございました。



#### 発行・お問い合わせ先

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学 国際交流推進センター「国際交流のひろば」  
Tel:025-521-3666 (研究連携課 国際交流チーム)

# 国際交流のひろば



## 留学生等の交通安全教室

11月1日(水)16時から大会議室において交通安全教室を実施し、留学生、日本人学生、教職員等36名が出席しました。留学生支援部会の近藤部会委員が司会進行し、押木部会長の挨拶の後、上越警察署交通課及び警備課職員による主に自転車のルールを中心とした交通安全指導や身近な犯罪などについてお話がありました。今年度は、春と秋の2回、交通安全教室を実施しました。



## 学長と平成29年度入学留学生との懇談会



11月8日(水)12時から第二食堂において10月入学の留学生を対象とした学長との懇談会を実施しました。

学長、理事、留学生指導教員、国際交流推進センター委員と留学生が出席しました。藤谷国際交流推進センター専任教員の進行で、留学生の自己紹介、学長からの歓迎と励ましの言葉があり、昼食をとりながら日本での留学生活の様子や出身国の話、本学での勉強の感想など和やかに懇談が行われました。

## J. TEST 実用日本語検定受験



11月18日(土)本学において、留学生がJ. TEST 実用日本語検定を受験しました。本学では留学生の日本語能力を公正かつ客観的に評価し、今後の留学生に対する日本語支援に役立てることを目的に実施しています。留学生が受験したものは中級～上級者向けで、点数により特A～D級に判定されます。難易度は毎回一定のため、毎年受験することにより日本語力の進歩が分かります。

## 世界を語ろう!



11月22日から全4回、水曜日のランチタイムに「世界を語ろう!」を行っています。

留学生交流プラザに留学生、日本人学生、教職員が集まり、世界の文化・生活・言葉などについて一緒におしゃべりしながら交流します。

11/22は蔣宇、孟莹、王鑫宇さん(中国)、11/29は霜崎大知さん(M1, 日本)が語り手となりました。



11/22 辛～い四川料理と  
お肉が美味しい内蒙古の料理



11/29 日本の踊り「よさこい」を  
踊ってみよう!

### 発行・お問い合わせ先

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学 国際交流推進センター「国際交流のひろば」  
Tel:025-521-3666 (研究連携課 国際交流チーム)

# 国際交流のひろば

## 平成29年度「海外教育(特別)(実践)研究A」報告会

12月7日(木) 12時から人105において、「海外教育(特別)(実践)研究A(オーストラリア)」の報告会を行いました。

平成29年9月20日～29日の10日間、本学学部生及び大学院生6名と引率教員2名がオーストラリアのアデレードにあるウェストミンスタースクールを訪問し、英語による授業実践やアデレード、シドニーでの文化研修等の海外研修を実施しました。

報告会では、実習で得た学びや経験など、オーストラリアで充実した時間を過ごしてきたことを参加した学生が報告しました。



12/7 報告会



英語による授業実践(9月)



シドニーでの文化研修(9月)

## 外国人留学生との意見交換会

12月13日(水) 16時30分から大会議室において、外国人留学生との意見交換会を実施し、留学生、チューター、教職員など54人が出席しました。

留学生支援部会の近藤部会委員が司会進行し、釜田国際交流推進センター長の挨拶に続き、小グループごとに意見交換を行いました。

留学生からは雪が降った時の生活の不安や宿舎、大学での授業、地域との交流など日ごろの悩みや考えていることの見解・要望が出され、アドバイスや解決方法などが話し合われました。

この会で得た意見は、今後の留学生支援につなげていきます。



グループに分かれて意見交換

## 世界を語ろう!



11月22日から全4回、水曜日のランチタイムに、留学生交流プラザにて「世界を語ろう!」を行い、留学生、日本人学生、教職員が集まり、世界の文化・生活・言葉などについて一緒におしゃべりしながら交流しました。

12/6は王佳穎さん(D1, 中国)、12/13はヤキ・ロザさん(スロベニア)、ポンドリュシュコバ・エリシュカさん(チェコ)が語り手となりました。

毎回、約15名の参加があり、和気あいあいと語り合う和やかな時間となりました。



12/6

何だろう?日本の魅力って。  
-中国人中上級英語話者に聞いてみた-



12/13

Trip to Europe!  
-チェコの美術とヨーロッパ4か国の首都-



## 冬休みの宿題教室

12月22日(金)16時30分~19時30分、人213、214において、冬休みの宿題教室を実施しました。これは、平成29年度上越教育大学地域貢献事業「外国人児童生徒への修学支援プロジェクト」によるもので、上越市及び上越近隣地域在住の外国にルーツをもつ児童生徒を対象に支援するものです。

外国人留学生及び日本人学生14名が支援者として参加し、小中学生9名が持参した冬休みの宿題の中で、一人では取り組むことが難しい部分を中心に行いました。



宿題に取り組んでいる様子



レクリエーション  
(ジェスチャー伝言ゲーム)

発行・お問い合わせ先

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学 国際交流推進センター「国際交流のひろば」  
Tel:025-521-3666 (研究連携課 国際交流チーム)



# 国際交流のひろば

## 台湾・国立嘉義大学の来訪

1月21日(日)から23日(火)まで、本学交流協定校である台湾・国立嘉義大学から教職員11人と学部生・大学院生25人の計36人の訪問団が来訪しました。

訪問団は26日(金)まで、長野や東京を見学し、帰国の途に着きました。3月には、海外教育(特別)(実践)研究Eの授業を履修している学生が同大学を訪問し、小学校での授業実践等を行う予定です。



訪問団一行

- 1/21(日) 上越に到着
- 1/22(月) 歓迎式  
附属幼稚園 参観  
岩の原葡萄園 見学  
妙高酒造 見学  
歓迎交流会
- 1/23(火) 附属小学校 参観  
附属中学校 //
- 情報交換会  
・国際交流・単位互換  
・体育  
・教育行政  
・学生交流  
上越を出発



情報交換会  
(学生交流)

## 短期留学生の修了

昨年10月から在籍していたVondruskova Eliskaさん(チェコ、カレル大学・本学協定校)が半年間の留学を終え、帰国されます。メッセージを寄せてもらいました。

Hello everybody, I am few days before departure from Joetsu University of Education and I would like to thank to all the professors and staff who took care of me and were patient and supporting. I enjoyed my stay here and I feel that I have learnt so much, especially from my major teacher Mrs. Douya. I met a lot of nice people and I am happy that I can call them friends. I hope we will stay in touch. Back to my country I am bringing new skills, experiences and memories. Thank you all that I could be here. 皆様、誠にありがとうございました。さよなら!



### 発行・お問い合わせ先

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学 国際交流推進センター「国際交流のひろば」  
Tel:025-521-3666 (研究連携課 国際交流チーム)

# 国際交流のひろば

## 短期留学生の附属小学校授業参観

2月6日(火)本学附属小学校において、池川留学生支援専門部会委員の引率のもと、短期外国人留学生6名が授業参観をしました。これは海外の協定校からの短期留学生及び日本語・日本文化研修留学生に母国の教育制度と比較し、日本の教育事情を理解してもらうことを目的として実施しているものです。

郭可心さん(中国)は「初めて日本の小学校へ行くのでとても楽しみでした。教室に貼られている色々な活動の写真や生徒の作品にびっくりしました。本で知識を勉強するだけでなく、実践活動から見えないこともたくさん身に付けられると感じました。中国でも生徒たちに自主的に考えさせ、楽しく知識が身に着くような教育方式を行うと、国の教育レベルもさらにアップできるのではないかと思います。」と感想を話していました。



## 平成29年度留学生スキーのつどい

2月28日(水)・3月1日(木)赤倉観光リゾートスキー場において、留学生スキーのつどいを実施しました。スキー発祥の地である上越の地域性を生かし、留学生がスキーを体験するとともに、スキー実習を通して留学生相互及び教職員・学生との親睦を図ることを目的として実施しています。

初めてスキーを体験した王娟さん(中国)から感想文を寄せてもらいました。

### 教育連携コース 研究生 王 娟 (中国)

平昌オリンピックが終わったばかりだが、羽生結弦の完璧な演技が忘れられなかった。いつかスノースポーツを体験したいなあと思っていた。留学生スキーのつどいがあると知り、私は躊躇わずに参加を申し込んだ。初めてのスキーで、ずっと前から首を長くして待ち、いよいよ出発の日。スキーを滑る人々はまるで雪世界のエンジェルだった。初心者の私は、指導の先生と学生からの優しい指導に、感動した。転ぶことがあったが、毎回頑張って立ち上がった。体のバランスを取って、足に任せて、耳に風が吹き、スピードを楽しんだ。2日間でスキーを体験する一方、ホテルの良いおもてなしを受けて、すごくうれしかった。

このつどいを通して、留学生と日本人の間だけではなく、留学生同士も交流が深くなった。それに、留学生の私たちは日本の文化を体験して、良い経験になったと思う。有意義で有難い国際交流の機会だった。皆さまのおかげさまで、スキーが楽しかったです。心から感謝しています。



先生の指導を受けながら



### 発行・お問い合わせ先

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学 国際交流推進センター「国際交流のひろば」  
Tel:025-521-3666 (研究連携課 国際交流チーム)



# 国際交流のひろば



## 平成29年度国際交流のつどい

3月6日(火)16時30分から本学第一食堂において、平成29年度上越教育大学国際交流のつどいを開催しました。

上越市、上越国際交流協会、近郊のロータリークラブ、上越青年会議所、本学振興協力会など、日ごろ交流のある地域団体の方々と本学教職員、留学生、チューターなど約80人の参加がありました。この会は、日頃より本学の国際交流活動、また、外国人留学生に対し、御支援いただいている地域の方々と本学教職員等が意見交換を行い、国際交流の推進に役立てるとともに相互の親睦を深めることが目的です。

第一部では本学の国際交流の現状及び留学生の体験発表があり、第二部の外国人留学生との懇談会では、留学生と関わりのある多くの方からご意見をいただき、また、留学生はよさこい踊りを披露して、参加者の皆さんにも体験していただくなど、交流を深める有意義な時間を過ごしました。

留学生の体験発表



よさこい踊りを参加者の皆さんと一緒に



## 修了留学生への記念品贈呈式

3月13日(火)13時30分から学長室にて、3月に修了する大学院生12名に対し、学長から記念品が贈呈されました。

修了生の石巍さん(中国)は、「上越教育大学で楽しく有意義な2年間を過ごしました。しっかり指導してくださった先生方と生活面で暖かく支えてくださった国際交流チームの方々に心より感謝申し上げます。」とお礼の言葉を述べました。



## 学生表彰を受けました

平成29年度学生表彰が3月6日(火)国際交流のつどいの中で執り行われ、趙嘉鈺さん(中国)が表彰されました。表彰理由は、本学の留学生支援の一つとして行っているJ-T E S T 実用日本語検定の受験において「特A級」に認定されたことによるためです。この「特A級」を認定された者は、受験者全体の0.4%とされています。

おめでとうございます。



### 発行・お問い合わせ先

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学 国際交流推進センター「国際交流のひろば」  
Tel:025-521-3666 (研究連携課 国際交流チーム)